


# CASBEE<sup>®</sup>-戸建(新築)

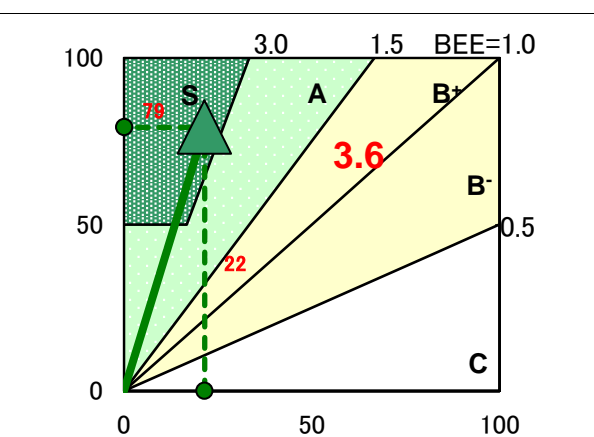
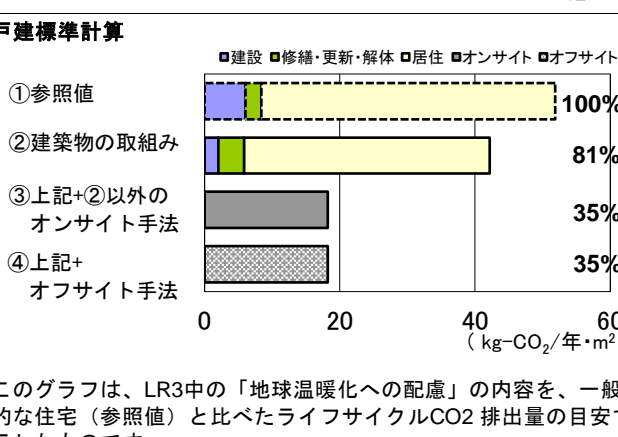
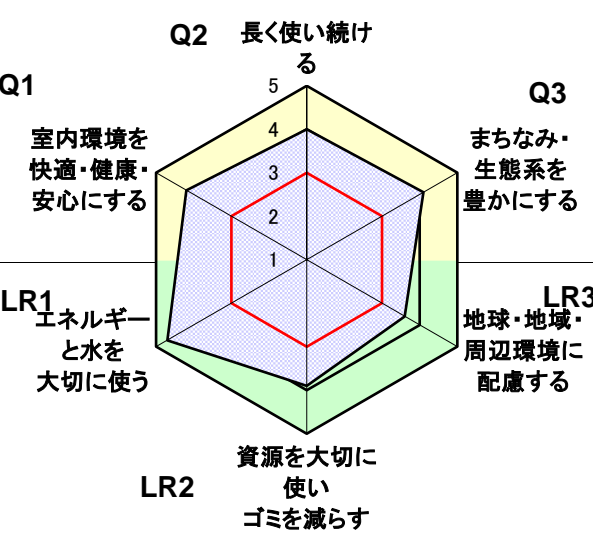
# 評価結果

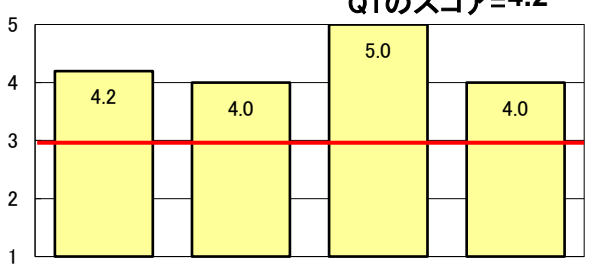
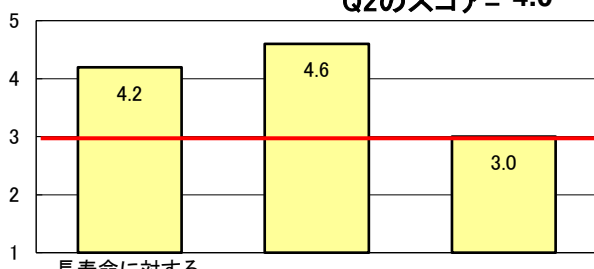
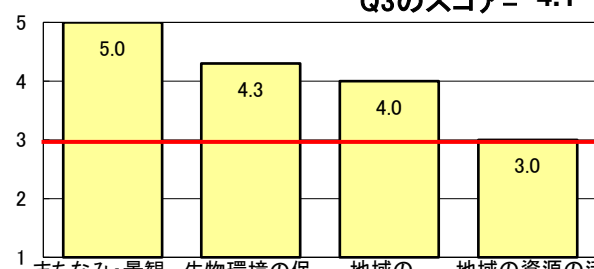
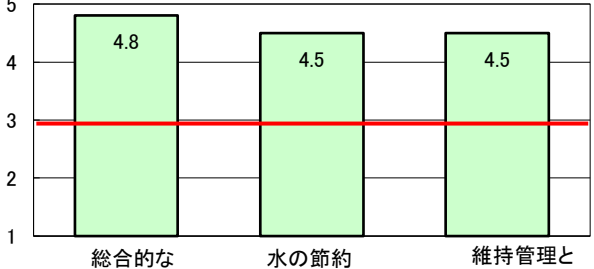
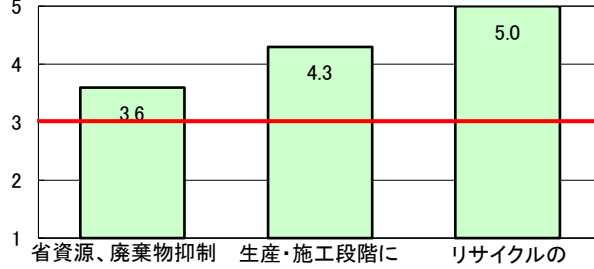
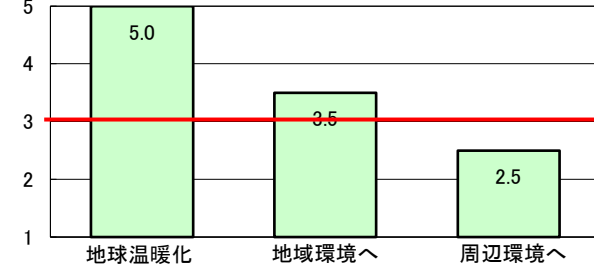
■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH\_NC\_2016v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	町田市相原町A4棟新築工事		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 一部確定
竣工年月	2018年1月	竣工			
建設地	東京都町田市相原町205-6				
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造・在来工法	確定			
階数	2		評価の実施日	2018年1月26日	
敷地面積	120 m <sup>2</sup>	確定	作成者	五光ハウジング株式会社 石山辰巳	
建築面積	48 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2018年1月26日	
延床面積	96 m <sup>2</sup>		確認者		
世帯人数	4	仮			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 3.6</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> 	<p>★★★★★</p> <p>~0%: ★★★★★ ~50%: ★★★★★ ~75%: ★★★★★ ~100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q のスコア = 4.1</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>Q1のスコア= 4.2</p> 	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>Q2のスコア= 4.0</p> 	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>Q3のスコア= 4.1</p> 
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p><b>LR のスコア = 4.1</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>LR1のスコア= 4.7</p> 	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>LR2のスコア= 3.9</p> 	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>LR3のスコア= 3.6</p> 

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>居住者が建物を長期間利用できるよう、耐久性や維持管理容易さ、快適な住環境を目指した。また、住宅で使用するエネルギーを太陽光発電とエネファームにて賄い、蓄電池やHEMSにて効率的に利用することにより、住宅が使用する一次エネルギーの消費削減など、環境に与える負荷が小さい建物である。</p>	<p><b>その他</b></p>	
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>自然採光、通風等も考慮しており、優れた断熱性、適切な冷暖房設備で快適な室内環境を保てる。</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>耐震等級3、劣化等級3等、長期間の仕様に耐えられる材料や仕様を採用する。維持管理などにメンテナンスの容易さ、維持管理が可能な情報提供を用意している。</p>	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>敷地内の緑化に取り組み、街並みに配慮した生垣を採用した。</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>高い断熱性能で、冷暖房エネルギーを抑えており、水栓等を節水タイプを採用し節水に努めた。また、太陽光発電とエネファームで創エネルギー図っている。</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>構造材のプレキャスト納材等で、産廃物の削減している。また、リサイクル材、再生可能材の積極的な採用を図っている。</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>浸透枳の採用によるインフラ負荷の低減や、敷地内の緑化を図り環境への負荷を軽減に努めている。</p>